

消化器外科・小児外科・乳腺外科 臨床研修マニュアル

岐阜大学の外科は臓器別でチームに分かれ、専門性の高い医療を展開しています。

希望に応じて食道、胃、大腸、肝胆膵、乳腺、小児外科、腫瘍内科のチームに所属して臨床研修が可能です。

組み合わせ自由、全ての手術にいつでも参加可能です。

週間スケジュール：

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	①合同カンファ	チーム回診	⑤外科カンファ	チーム回診	⑦外科カンファ
	②手術(肝胆膵)	④手術	⑤抄読会	④手術	手術
午後	③小手術	④手術	⑥手術(乳腺)	④手術	⑧手術(小児)
	病理カンファ等	薬剤説明会等	WEB 講演会等	薬剤説明会等	WEB 講演会等

スケジュール詳細と集合場所：

- ①：7時30分に5西CCSで合同外科カンファレンス(消化器外科・小児外科・乳腺外科・心臓血管外科・呼吸器外科)に参加します。
各臓器チームがその週の手術症例をプレゼンテーションします。複数科横断的な症例や高難度手術症例の治療計画を学ぶ事が出来ます。
- ②：月曜日は肝胆膵チームが高難度手術を行うことが多いです。
- ③：月曜午後は鼠径ヘルニアや腹腔鏡下胆のう摘出術等の小手術が多いです。指導医と共に参加し、ときには執刀の機会もあります。
- ④：火曜日と木曜日は手術件数が多いです。胃や大腸のロボット手術や食道の胸腔鏡手術があります。
- ⑤：7時30分に8西CCSで外科カンファレンス、抄読会に参加します。
カンファレンスでは手術内容や術後経過の報告をします。抄読会では毎週医局員が持ち回りで最新の英語論文をプレゼンテーションします。
- ⑥：水曜は乳腺チームの手術が3,4件あります。
- ⑦：8時00分に8西CCSで外科カンファレンスに参加します。手術内容や術後経過の報告をします。
- ⑧：金曜は小児外科チームの手術が2,3件あります。

例えばこんな1カ月を過ごします：

- 1週目：月曜の合同カンファに参加。火曜は大腸チームのロボット手術、水曜は乳腺チームの手術を見学、金曜は小児外科の手術に参加した。
- 2週目：食道チームに所属。火曜に胸腔鏡手術に参加、その後ICU管理。水曜に抜管、木曜に胸腔ドレーンを留置。じっくり術後を体験した。
- 3週目：胃チームに所属。カンファで手術症例をプレゼンテーション。腹腔鏡手術でスコピスト(カメラ持ち)を経験。胃チームの一員として行動できた。
- 4週目：月曜に鼠径ヘルニア手術。指導を受けつつ、ところどころ執刀。糸結びもスムーズで上手くなった気がする。研修期間、延長しようかな…。

到達目標：

●本気で外科医を目指す研修医の場合

「一般病院に負けない場数、踏めます。」

豊富な症例数があり、研修医でも執刀機会があります。珍しい術式や高難度手術、希少疾患を経験できるチャンスはここにしかありません。

中心静脈カテーテル穿刺、気管切開、胸腔ドレーン挿入、挿管、抜管、ベッドサイドエコー…経験できる手技、チャンスは無限にあります。

「専門性の高い医療体験で、プロフェッショナルへの最短距離を提案します。」

チームの一員となって、臓器別に特化した専門医療を経験することは、「一人前への近道」です。

「将来目指すべき道」、「自分が本気でやりたいと思える事」、これを少しでも早く見つけるチャンスが、たくさん転がっています。

「資格の獲得に直結します。」

外科医が最初に目指す資格は日本外科学会の外科専門医です。資格獲得には350例の手術参加と120例の執刀経験が必要です。

350 例の内訳の一部を紹介します。消化器 50 例、乳腺 10 例、小児外科 10 例、このうち 10 例は内視鏡手術が必要です。

1 カ月の研修期間があれば、最低でも消化器 15-20 例、乳腺 8-10 例、小児外科 3-5 例、研修医でも資格のための症例数を集められます！

●外科系を考えている研修医の場合

「外科は外科でも、志望しているのは別の外科…だけど、安心。」

消化器外科は「骨盤」で泌尿器科や産婦人科、「胸腔」や「縦隔」で呼吸器外科や心臓血管外科と深く関わっています。

手術の所作は全ての外科系診療科に共通します。使う器具も腹腔鏡もロボットもほとんど同じです。精緻な技術をぜひ学んで下さい。

「全ての診療科で役立つ知識、術後の全身管理を体感しよう。」

食道チームや肝胆膵チームで大手術後の全身管理を体験しましょう。ICU やベッドサイドでの処置は、将来の自分の診療に生きるはず。

胃チームや大腸チームで多くの手術患者さんのマネジメントを体験しましょう。豊富な術式と手術件数は大学病院でしか経験できません。

乳腺チームや小児外科チームでは手術に加えて化学療法、外来診察、術前・術後検査を学び、医師としての多様性を体験しましょう。

私たちの科には女性の外科医も多く所属しており、一線で活躍しています。女性に優しい働き方、ぜひ見に来てください。

●外科以外の診療科を考えている研修医の場合

「不器用でも大丈夫、自信の翼を授けます。」

器用じゃないから外科は無理かも…とっていませんか。大丈夫です、出来ます。

「すべての診療科の基礎が詰まった外科で、主治医体験をしよう。」

結ぶ、切るというスキルは全ての診療科で必要となる手技です。毎日結んで切っている外科医が、貴方のその手技を確実なものに仕上げます。

自分の手で検査、処置、点滴をオーダーしましょう。病棟を回診して、日々のカルテを記載して、一人前の「主治医体験」をしてください。

患者さんとのコミュニケーション能力が身に付きます。術前、手術、術後から退院までの一連を経験する事は、**医師の基本能力を高め**ます。

内科志望でもお腹の中を見て、触れるのは貴重な体験です。手術検体の標本整理は病理学につながります。**外科は全ての診療科の基礎**です。

消化器外科・小児外科・乳腺外科で学べること・身につくこと：

(これは実際に消化器外科・小児外科・乳腺外科で研修した医学生・研修医を対象とした実習終了後アンケートの結果です)

1 位：手術の手順、解説、注意点 …76.3%

2 位：手術に必要な解剖 …73.7%

3 位：縫合・結紮などの基本手術手技 …73.2%

確実に学び、確実に身に付きます。

message：

外科はとても楽しいです。消化器外科には多くの臓器があり、乳腺外科と小児外科、腫瘍内科もあります。

自分の特性を活かして活躍できる分野を、広く探す事が出来ます。

最短距離で一人前のプロフェッショナルになるための貴重な経験が待っています。

連絡先：非公開

